

# 令和4年度 四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会 提言活動

令和4年8月8日(月)に「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」(発起人代表：濱田省司高知県知事)が、国土交通省の藤井直樹事務次官、吉岡幹夫技監及び丹羽克彦道路局長に「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消や、ポストコロナの経済的対応及び国土強靱化のための予算・財源の確保などについて提言を行いました。

## ■国土交通省 藤井直樹 事務次官への提言



### ● 濱田高知県知事

・ポストコロナ時代の地方創生や国土強靱化の推進のためには、四国8の字ネットワークの早期整備が不可欠。四国の総意として、8の字の早期整備等に向け令和5年度予算の確保及び国土強靱化5か年加速化対策後も予算・財源の確保をお願いする。

### ● 佐伯四国経済連合会会長

・四国創生の実現のためには、観光振興・一次産品の生産拡大が重要であり、8の字はその原動力となる。南海トラフ地震が想定される地域でもあり、“命の道”として四国全域で8の字がつながることが非常に重要。

▲左から、岸本愛媛県参与、浜田香川県知事、藤井事務次官、濱田高知県知事、佐伯四国経済連合会会長、松野徳島県県土整備部長

### 藤井事務次官

・整備必要箇所がまだ多く残っていると実感。経済及び防災・減災の面でも必要予算をしっかりと確保し、引き続き8の字整備を前に進める。

## ■国土交通省 吉岡幹夫 技監への提言



### ● 浜田香川県知事

・高松自動車道の全線4車線化の効果により、コロナ禍においても特に大型車交通量が増加している。更なる物流等の促進のため、坂出北ICフル化及び観音寺スマートICの整備について引き続きお願いする。

### ● 飯泉徳島県知事代理 松野県土整備部長

・徳島南部自動車道が「徳島JCT」から「徳島津田IC」まで開通したことにより、津田地区の企業用地の売却が順調に進んでいる。更なる、地域のポテンシャルアップのためにも、残るミッシングリンクの早期解消をお願いする。

▲左から、松野徳島県県土整備部長、岸本愛媛県参与、浜田香川県知事、吉岡技監、濱田高知県知事、佐伯四国経済連合会会長

### 吉岡技監

・経済活性化や防災対策としても、一刻も早く8の字がつながることが大事。完成区間の利活用や、高速道路周辺も合わせた全体的なネットワークとして機能できるよう整備を進めていく。

## ■国土交通省 丹羽克彦 道路局長への提言



### ● 中村愛媛県知事代理 岸本参与

・四国西南部では唯一の幹線道路である国道56号が津波浸水で寸断し、陸の孤島となることが懸念されている。事業化区間の整備推進や未事業化区間「御荘～一本松」の早期事業化など、ミッシングリンクの早期解消をお願いする。

▲左から、岸本愛媛県参与、浜田香川県知事、丹羽道路局長、濱田高知県知事、佐伯四国経済連合会会長、松野徳島県県土整備部長

### 丹羽道路局長

・(四国地方整備局長の経験から)四国は全国と比較しても、高規格道路ネットワークの整備が遅れていることを再認識した。さらに力を入れ、必要予算を確保していく。



四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会  
(発起人：徳島県・愛媛県・香川県・高知県・四国経済連合会)